# 総合的な学習の時間におけるキャリア教育の実践事例

北広島町立大朝中学校 指導者 T1 荒木 良輔 T2 島田 朋実 T3 山本 準一

#### 1 生徒の実態

本中学校区には小学校 2 校と中学校 1 校があり、いずれも小規模の学校である。小規模校の良さでもあるが、教師が細かく手を差し伸べることがあるため、人間関係を構築する力やコミュニケーション能力(自分の思いを他者に伝える力)に課題がある。また、また、主体的にものごとに係わっていく力や困難にぶつかった時にそれを乗り越える力(レジリエンス)にも課題がある。

また、令和3年7月実施したキャリア教育に係るアンケート結果から、下表に示す3項目 について肯定的回答が低い数値がみられた。

対象1	学年:	16夕	数値	$(0/_{0})$
N	十十.	10 /1	奴 胆	(/0/

質問項目	肯定的回答	否定的回答
分からないことやもっと知りたいことがある時,自分から進んで資料 や情報を収集したり誰かに質問したりしていますか。	62. 4	37. 6
何かをする時き,見通しをもって計画的に進めたり,そのやり方などについて改善を図ったりしていますか。	30. 3	69. 7
学ぶことや働くことの意義について考えたり、今学校で学んでいることと自分の将来とのつながりを考えたりしていますか。	47. 9	52. 1

中学校キャリア教育の手引き (平成23年) pp. 64-65 参照

アンケート結果から、活動の目的の達成に向け、どのような計画を立て、それぞれがどのような役割をもって活動していけばよいかという、役割を自覚し計画を立てて活動を行っていく力が不足している生徒が多くいることが分かる。

#### 2 キャリア教育を通して育成する基礎的・汎用的能力

キャリアアンケートの結果及び児童生徒の実態から,本中学校区の児童生徒について育成する基礎的・汎用的能力は自己理解・自己管理能力に焦点を当て,次のように設定した。

<u> </u>					
自己理解・自己管理能力【主体的行動】(案)					
小学校	中学校	社会に出るとき			
i 経験したことをもとに,考		i 先のことを予測し,今すべ			
えて行動や発言ができる。	手なことにチャレンジでき	きことを把握して行動でき			
ii 嫌なことでも折り合いを	る。	る。			
つけて行動できる。	ii 自分の役割を理解して、行	ii 自ら進んで周りを巻き込			
iii 「まずはやってみよう, 考	動・発言することができる。	んで、仕事やプロジェクトを			
えてみよう」と考え、積極的	iii 自分の得意・不得意を理解	進めている。			
に取り組むことができる。	して、必要な行動を選択して				
iv 自分の役割が分かり、自ら	行動できる。				
進んで行動できる。	iv 自分の置かれている状況				
	から、今やるべきことを選択				
	して行動できる。	<u> </u>			

3 総合的な学習の時間「大朝の宝をPRしよう ~ふるさと大朝 テングシデ~」を通した基礎的・汎用的能力の育成

国の特別天然記念物「テングシデ群落」に群生している「テングシデ」に関係する様々な学習を行い、テングシデをどのように守っていくかや、ふるさと大朝の素晴らしさの再認識、地域に誇りをもたせることなどをねらいに、平成28年より行ってきている。第1学年において、テングシデを多くの人に知ってもらうことをテーマに、総合的な学習の時間を中心に、カレンダーを用いたテングシデの啓発活動の学習を進めていく。学習の過程で、制作部、経理部、広報部の三部に分かれ、所属した部でカレンダー制作を検討させる。各部で業務を想起させ、いつごろ行うか、いつまでにやっておくか、どの情報を収集する必要があるかなど検討させることを繰り返す中で、自分の役割を見つけさせ、見通しをもって計画的に進める力を養いたい。

4 総合的な学習の時間「大朝の宝をPRしよう ~ふるさと大朝 テングシデ~」での実 践事例

# (1) 単元の目標

地域の宝であるテングシデや大朝地域のよさを多くの人に知ってもらう活動を通して、 テングシデの保全活動の歴史や伝統を受け継いできた人々の工夫や努力を理解し、地域を PRするために自分たちでできることを考え、町づくりに積極的に関わることができるよ うにする。

#### (2) 単元の評価規準

#### 知識•技能

- ① テングシデ保全活動に は歴史があることを理解 するとともに, 伝統をつな いできた人々の工夫や努 力, 思いに気付いている。
- ② テングシデを多くの人 に知ってもらうための媒 体制作において,課題に応 じた方法で調査している。
- ③ 学習をまとめ、振り返ることを通して、地域の一員として地域活動に参画する意義を理解している。

#### 思考・判断・表現

- ① 自らの活動から学習課題を見出している。
- ② 課題解決に必要な方法 を明確にしながら,学習計画を立てている。
- ③ 互いの考えや理由,収 集した情報などを比較,取 捨選択しながら,解決でき ている。
- ④ 集めた情報を比較,取 捨選択しながら,テングシ デや地域のよさを広めて いくためのよりよい方法 についてまとめ,考えてい る。

#### 主体的に学習に取り組む態度

- ① 自ら考え,よりよい方法で取り組もうとしている。
- ② 自分の役割を理解し、 行動、発言しようとしている。
- ③ 自分の置かれている状況から,自分の得意・不得意や,今やるべきことを選択し行動しようとしている。
- ④ 活動の意義や内容を発信するために、友達の考えを生かしながら、協働して課題解決に向けて取り組むうとしている。
- ⑤ 自分も地域の一員であることを自覚し,地域のためにできることを考えて関わろうとしている。

# (3) 単元計画(学習の流れ及び指導と評価の計画)[全38時間]

次	時	上計画(子首の流れ及び指導と評価の計画) (至 36 時間) 内 容
DC	r.d	総合的な学習の時間ガイダンス 〇単元目標の提示
1	2	大朝・地域の宝テングシデのことを多くの人に知ってもらおう
1		・テングシデについて知っていることを紹介しよう 【思・判・表①】 【主①】 ○地域活性化の方法を考えよう ・活性化する方法を調べ紹介しよう ・費用・原資と収益について知ろう 情報の収集
2	6	カレンダー製作で考えておくことを整理しよう【知・技②】【思・判・表①②】 【主①】  ・テングシデの要素をどのように取り入れるか考えよう  ・形態・デザイン・使いやすさを調べよう  ・QR コードを用いて大朝のどのような情報を伝えるか考えよう  ・誰に使ってもらいたいか考えよう  ・どのようにカレンダーを届けるか考えよう
3	2	地域の宝=テングシデを考えよう【知・技①】【思・判・表②】【主①(⑤)】 ○地元の中学生だからこそ伝えられる想い(メッセージ)は何か考えよう ・想いを表現する方法を調べ紹介しよう 「情報の収集」 ○地域の方からテングシデについてお話を聞こう ・これまでの学習を振り返りテングシデについて知りたいことを整理しよう。 ・テングシデ保存会の方からお話を聞こう(GT) ・聞いた内容をまとめよう ○カレンダーに必要なことをまとめよう
	6	カレンダー制作チーム (会社) をたちあげよう 1【思・判・表②③】【主①②③④】
4	本時 4 / 6)	・制作部 経理部 広報部の仕事を考えよう (グループ学習) 情報の収集 ・各部の仕事を進める計画をつくろう
		○意見をもとに計画を再検討しよう【◎本時】 ・テングシデ現地視察の計画をたてよう(制作部主担当) 整理・分析
5	9	<ul> <li>○テングシデの現地視察をしよう(GT)</li> <li>・テングシデを観察しよう</li> <li>○他地域の活動に参加しよう「芸北中学校トレッキングガイド参加」</li> <li>・他地域の保全活動や中学生参画事業に参加しテングシデ保全を改めて考えよう</li> <li>・他の中学校に自分たちの活動を伝えよう(プレゼンテーション)【主②③】</li> </ul>

6	9	カレンダー制作チーム (会社) をたちあげよう 2 【思・判・表②③】 【主①②③④】 ○各部の仕事をすすめよう ・カレンダー素材を検討しよう (制作部) ・カレンダーの値段や数量を検討しよう (経理部) 課題の設定 整理・分析 ・カレンダーの促進計画をたてよう (広報部) ○カレンダーを完成させよう ○カレンダーを配布しよう
7	4	学習してきたことをまとめよう【知・技③】【思・判・表④】 ・デジタルツールによるまとめ【主⑤】 ・まとめたことを発表しよう ○地域活性と自分たちの役割について考えよう ・将来の大朝について考えよう

# (4) 本時の展開

# ① 本時の目標

各部が提案した内容をもとに,互いの考えや理由,収集した情報などを比較しながら自分たちの案を振り返り,自分の役割を理解し,自ら考え協働して課題解決に向けて取り組もうとしている。

# ② 評価規準

- ・自分の役割を理解し、行動、発言しようとしている。【主②】
- ・活動の意義や内容を発信するために、友達の考えを生かしながら、協働して課題解決に向けて取り組もうとしている。【主④】

# ③ 本時の流れ

学習活動		<ul><li>・指導上の留意点</li><li>◇キャリア教育の視点</li></ul>	評価規準【資質・能力】
1	本時の活動を知る。		
	他の音	『と調整し計画を再検討しよう	
2	部の計画を発表する。 3分×3グループ		
3	発表から質問したいことや疑問に思ったことを挙げ、担当者、質問項目を決める。	・前時までに出た疑問と合わせて,知りたい情報は何かなど質問項目を検討させる。	
4	各部担当で集まり質問をする。	◇持ち帰った時に部員に説明ができるために,他部の説明を理解するよう声をかける。	・自分の役割を理解し, 行動, 発言しようとしている。【主 ②】

制作部 経理部 A D B E C F	広報部 G H I G ADG)	
5 部で計画の再検討をする。	◇調整しなければいけない 部分について,他部の意見と 自分の部の意見をすり合わ せながら話をさせる。 ・活動の目的や各部との連携 を考慮して,計画を修正させ る。	・活動の意義や内容を発信するために、友達の考えを生かしながら、協働して課題解決に向けて取組もうとしている。【主④】
6 振り返りを行う。		

# 

教 科	人間関係形成 · 社会形成能力	自己理解 · 自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニン グ能力
国語	・全体と部分,事実と意見との関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話す。	・質問しながら聞きとり、自分の考えとの共通点や相違点を整理する。	<ul><li>・自分の考えを、 根拠を明確にして 書く。</li></ul>	・本や文章などから 必要な情報を集める ための方法を身に付け,目的に応じて必要な情報を読み取る。
社会	・地域の一員として り の課題分の課題分の解釈を加えた の解光を がまる。 ・郷土の施設の がまる。 ・郷土の施設の がった かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし			・様々な産業の種類 や内容、課題などに ついて理解し、そこ での生活の様子に目 を向ける。 ・人々の日々の営み に目を向ける。
数学	・問題を考察する際、自己内対話に終始せず、他者に説明し伝え合いながら学習を進める。			

理科				・生命を尊重する心情を育むとともに, 自然環境を大切に し,その保全に寄与 した生き方をしてい こうとする。
美術	・生活における美 術の働きなどを感 じ取る。 ・作品などに対す る思いや考えどは 明し合うなどして 、対象の見方や 感じ方を広げる。	ことを具現化でき るように表現の効 果などを考えなが	・表したい主題について、形や色彩、材料などを構成し、表現の効果を踏まえてどのように表現するのかなど構想を練る。	・作品が表している 内容や、形、色彩、 材料、表現方法など から、自分として根 拠をもって読み取 る。
技術・家庭	・製作や実習等を 通して協調性・責 任感をもつ(自他 の役割の理解と遂 行)。	<ul><li>・仕事の楽しさや 完成の喜びを味わう。</li><li>・充実感や成就感 を実感する。</li></ul>	・情報手段を主体 的 に選択し活用す る。	
外国語	・自分の気持ちや身のの気持ちや身のの中からの出来の事な表現を用いるまな。というない。これではいる。			